

技術情報カード

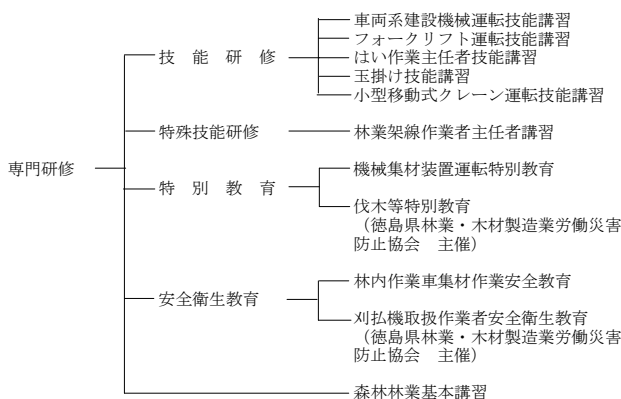
技術情報カード No.128
平成 22 年 6 月

建設業から林業に参入される方の森林林業基本講習

はじめに

森林林業研究所では、林業経営の近代化を推進するため、林業技術・技能の実践教育を行い、作業の安全確保と効率化を進めることを目的として、昭和 51 年度から、現場作業に必要な労働安全衛生法等に基づく資格等の取得を目的とした林業技術研修（以下「研修」という）を実施しています。

現在の研修内容は、次の表のとおりです。



表一 1 専門研修一覧表

研修については、特殊技能研修 1 コース（林業架線作業主任者研修）、技能研修 5 コース（車両系建設機械運転、フォークリフト運転、玉掛け、小型移動式クレーン運転、はい作業主任者）、特別教育 1

コース（機械集材装置運転）、安全衛生教育 1 コース（林内作業車集材作業）、森林林業基本講習の計 9 コースで実施しています。

研修内容は、いずれも、林業の実務作業に欠かせない労働安全衛生法の免許・資格等となっており、平成 21 年度から新たに森林林業基本講習を実施しています。

森林林業基本講習とは

ここで、昨年から新しく始まった、森林林業基本講習についてご紹介します。この講習の受講者は、建設業から新たに林業事業体登録した事業体の従業員等となっています。内容も、新たに林業に就業するために必要な森林林業に関する基本的知識及び林業労働安全に関する講義と実技を行なっています。

今年度は、平成 22 年 4 月 22 日（木）～平成 22 年 4 月 23 日（金）の 2 日間実施し、26 名の参加をいただきました。

森林林業の基礎講習として、「徳島県の森林林業の概要」、「森林施業概論」、「森林林業の様々な制度」、「木材の生産・流通・加工」の講義を行いました。

次に、「林業労働災害への対応」として、徳島市西消防署から 3 名の救急担当の方を講師に迎え、救急処置や止血法等の応急手当や緊急連絡対応の講義と実技を行いました。

救急処置では、まず、呼吸や心臓が止まった時のための「心肺蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸）や AED の使用の講義と実習を行いました。（写真 1 参照）



写真1 心肺蘇生法とAED

実習では、各自が人形を使って胸骨圧迫や人工呼吸、そして訓練用AEDを使って本番さながらの実習を行いました。また、喉にものが詰まったときの気道異物の除去として、腹部突き上げ法なども学びました。

他にも、チェーンソーによる傷の止血法として直接圧迫止血法や、蜂に対する措置として「エピペンの自己注射」なども教えていただきました。

この「林業労働災害への対応」講習は、徳島市消防局から救命技能を有すると認められ、受講者全員に「普通救命講習修了証」も交付されました。(写真2参照)

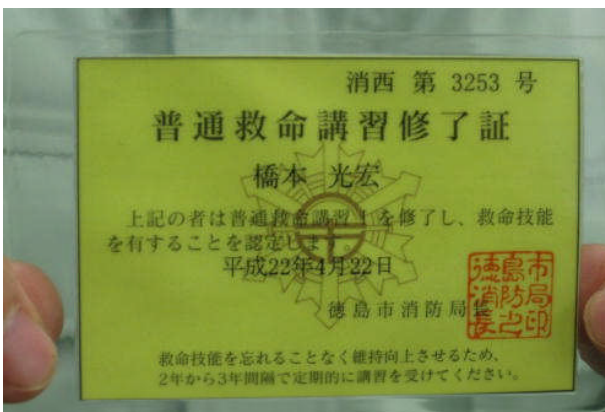


写真2 普通救命講習修了証

最後に、森林林業実習として研究所内の施設の見学を行いました。特に林業研修実習舎では、ワイヤーロープや林業用機械などの説明を行いました。(写真3参照)



写真3 林業研修実習舎の見学

受講者のみなさんは、これら研修を熱心に受講され、森林林業の基礎知識や労働安全に関する知識や実技を取得されました。これからの仕事に活かして欲しいです。

おわりに

徳島県では、間伐材の搬出推進や有効利用などによる林業飛躍プロジェクトを推進しています。このプロジェクトでは、「新聞伐システム」を安全でより効率的な間伐材生産システムへ向上させるために、林業現場の第一線で活躍される林業技術者の養成とオペレータの能力向上が重要です。

当研究所では、今後も建設業から参入される新規林業従事者を含めて、安全な現場作業に必要な資格取得を目的とした林業技術研修を実施していきます。

■内容に関するお問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

森林林業研究所 高度技術支援担当 橋本 光宏

TEL 088-632-4237 FAX 088-632-6447